

令和6年度学校評価シート（学校関係者評価）

かびら幼稚園

学校関係者評価委員会

日時 令和7年3月3日ほか

公開保育の後、学校評価を実施

出席者 評価委員（保護者）2人

評価委員（地域住民）1人

評価委員（他の施設の職員）1人

1、自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか。

ポストコロナの時代にもとめられる幼稚園として新たな形を模索する上で、目標や計画は、適切であったと思う。園児を取り巻く環境の変化、特に気候変動が問題視される中で、熱中症対策は、必須であり、より良い環境整備に努めてもらいたい。

園の業務に関連してICT化を進めていくことは、これからの時代、積極的に行っていくことが必要とされることと思われる。ICTの導入を進めることで業務の効率化を図り、教職員の負担軽減に繋がることで、ひいては、かびら幼稚園の保育教育の充実に寄与することが望ましいと考える。また、保護者にとっても利便性向上に繋がることだと思うので進めていくべきことと思う。

保育・教育の質の向上のための取り組みは、継続的に行われるべきものであり、目標設定として適切であると考ええる。教職員の方々は、日々忙しいと思われるが、研鑽に努めてほしい。園の行事や活動についても、これまで行ってきたことを大事にしながら、時代にあわせて、状況にあわせて、変えていくことも必要と思われるので、園児達の健やかな成長のため、これからも、知恵を絞り、工夫をしながら、活動や行事を行っていつてもらいたい。ラジオ体操やジョギングを日々続けることは、体力づくりや体幹づくりのため良い取り組みだと思われるので続けていつてほしい。

2、評価結果の内容は適切であったか

概ね適切だと思われる。実際に行っている取り組みの中で、課題があることについては、改善に向けて、引き続きとりくむべき点として評価されていると理解する。

3、今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

今年度の評価結果にもとづき、園として今後取り組むべき課題として内容が設定されており、適切と考える。特に安全管理と保育教育の質の向上は、幼稚園運営において、継続的に課題として取り組みを行っていく必要がある事案であり、今後も園全体でしっかりと取り組んでいつてもらいたい。

4、公開保育に参加して

園児達が元気で、明るく挨拶してくれる子どもも多く、かびら幼稚園での園生活が充実している様子が伝わってきて、喜ばしく感じた。こども達を取り組まぐ環境がますます厳しいものとなっていく中、教職員の方々の日々の努力に深く感謝するとともに、これからも、子ども達の健やかな成長ために頑張っていたきたい。